



分娩誘発・促進について



「分娩誘発」とは、自然に陣痛が開始しない場合に子宮収縮薬などを使用して、陣痛を開始させることです。また、陣痛が弱いため分娩の進行が停滞する場合にも子宮収縮薬などを使用しますが、これを「分娩促進」といいます。分娩は、自然に行われることが理想的ですが、お母さんと赤ちゃんにとって安全なものでなければなりません。しかし、自然な陣痛が開始するのを待てない場合や有効な陣痛が開始しない場合があります。子宮収縮薬などを使用して分娩を進行させることで、帝王切開をせずに自然に近い状態で経膈分娩を行うことを目標とします。

分娩誘発・促進が必要となる理由

- 1. 前期破水**
陣痛が開始する前に破水し、分娩までの時間が長引いた場合、お母さんや赤ちゃんに感染が起こることがあります。破水後、なかなか陣痛が開始しない場合には、分娩誘発を行い、分娩を早期に終了する必要があります。
- 2. 胎盤の機能低下**
分娩予定日を1週間以上過ぎると、徐々に胎盤の機能が低下します。分娩予定日前であっても、検査結果から胎盤の機能低下が疑われることがあります。これらを放置すると赤ちゃんの状態が悪くなることがあるため、胎盤の機能が低下する前に分娩誘発を行うことがあります。
- 3. 微弱陣痛**
陣痛が弱い状態が長時間続いて、分娩がなかなか終了しないことがあります。分娩が長時間になると、子宮の筋肉が疲労し、分娩後の子宮収縮が不良となり、産後の出血が多くなる場合があります。また赤ちゃんの状態も悪くなる場合があります。このような場合は、分娩促進が必要になります。
- 4. お母さんや赤ちゃんの状態**
お母さんが妊娠継続することが好ましくない場合や赤ちゃんがお腹の中にいることが好ましくない場合は分娩誘発を検討します。

分娩誘発・促進中はお母さんと赤ちゃんの安全を確保するために、分娩監視装置をお腹につけたり、血圧を定期的に測定したりします。子宮収縮薬などを使用し、途中まで経膈分娩を試みていた場合でも、お母さんや赤ちゃんの状態が危険になることや、分娩が進行しないことがあります。その時は、分娩方法を帝王切開に変更せざるを得ないこともあります。分娩誘発や促進について質問がある場合は、担当医にお気軽にお尋ねください。

産婦人科部長 三輪 一知郎



「おぎゃー!!!」 in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、
 ※ 妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
 ※ ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
 ※ 当病院の産科外来を受診されている方です。

院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は、3月に出産された獅桜くんのお母さんです。



現在の心境をお聞かせ下さい!

流産や重いつわりなど、辛いこともありましたが、生まれてきてくれた赤ちゃんや、今の毎日がとても愛おしいです。振り返ると妊娠期間、そして出産もとても幸せでした。ですから、今はもうすでに また妊娠&出産したい気分です!

助産院で出産しようと思われた理由は?

助産院や自宅で出産した友人の話を知り、「つるかめ助産院」や『フィーリングバース』といった本を読んだりして、もしまたお産することがあれば、赤ちゃんや自分が主体となったお産を試みたい、と思っていました。また、長女の時に、シザーハンズ並みのハサミでの会陰切開に主人が恐怖を覚えたらしく、なるべく会陰切開はしなかったため(笑)

助産院でお産をすることで不安な事はありましたか?

毎回の健診で、助産師さんが優しく親身にサポートしてくださったので、大きな不安もなく、赤ちゃんの生まれるか、自分の生む力を信じてことができました。いつ、どんなお産になるのか、わくわく楽しみでした。



ご家族の反応はいかがでしたか?

【お姉ちゃん】 生まれる前、獅桜が背中にくっついていて、自分が先に生まれてきた。と話していた娘。また会えたのがうれしいのか、毎日、「ぶっちゅーん♡」とキスをして、寝言で名前を呼ぶほど弟をかわいがってくれています。お世話もよくして頼りになります♡

「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。

助産師さんたちは、皆、優しく素敵な方ばかりで、健診時から出産・入院中と、私自身を肯定的に受け止めて下さったので、自信をなくしたり落ち込んだりすることなく、幸せな気持ちですごせました。助産院は家庭のような温かい雰囲気なので、とってもとっても オススメです。ここでなら何度でも出産したいほどです♡

「獅桜 しおう」

『獅子や桜のように強く優しい子になってほしい』という思いを込めました。
 生まれた時は、ちょうど桜が美しい時でした♡

しおう 獅桜くん
 平成31年3月27日 生まれ

助産院Sunスタッフより

入院された時は、まだまだの様子でしたが、お姉ちゃんが寝ついた途端に、一気にお産が進んで、私達スタッフもご主人もビックリでした。お産に立ち合わせて頂いて、改めて産婦さんの「出産の力」を感じる事が出来ました。また助産院に元気な姿を見せて来て下さい。(山本)

センター稼働状況

分娩数	60件	緊急帝王切開	8件
母体搬送	3件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	97.8%

(令和元年7月)

『ゴーヤができたよ』 編集後記



残暑お見舞い申し上げます。台風が過ぎ、ほんの少し日差しが和らいできましたね。さて、皆さんは何か家庭菜園をされていますか? 今月のお飾り(←)のテーマは『ゴーヤ』。ゴーヤと言えば苦いイメージがありますが、完熟したゴーヤの赤い種の周りは甘くて美味しいらしいですよ(^^)一度試してみたいです!(C.K☆N.S☆Y.M☆K.H)



周産期センターキャラクター マミー&メイ